

平成27年度 高知大学 出前公開講座

[in 大豊町]

募集定員
-各クラス-
30名

日程：平成27年9月11日(金)～10月16日(金)
場所：大豊町農工センター文化ホール

受講料
1,200円

開講講座一覧

第1回：9月11日(金)
午後6：45～8：30
(開講式含む)

「2060年の大豊町をどう描くのか？」

高知大学副学長・地域連携推進センター長
高知大学総合科学系生命環境医学部門 教授
うけだ ひろゆき
受田 浩之

第2回：9月17日(木)
午後6：45～8：15

**「地方創生を
集落や公民館単位
で考える」**

高知大学 総合科学系
黒潮圏科学部門 教授
いぐに よしあき
飯國 芳明

第3回：10月2日(金)
午後6：45～8：15

**「高知県と嶺北地方
の教育力向上に
ついて考える」**

高知大学 人文社会科学系
人文社会科学部門 准教授
ながの たくや
永野 拓矢

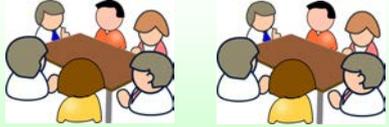
第4回：10月9日(金)
午後6：45～8：15

**「大学生と地域との
協働を考える」**

高知大学 自然科学系
農学部門 教授
いちかわ まさひろ
市川 昌広

第5回：10月16日(金)
午後6：45～8：30
(閉講式含む)

**「学びから大豊町
の将来を考える」**



ワークショップを実施します



申し込み日 8月29日(金)まで
申し込み先 大豊町教育委員会事務局 (TEL 0887-72-0450)

※当日の参加も可能ですが、できるだけ事前にお申し込み下さい。

主催：高知大学地域連携推進センター域学連携推進部門／共催：大豊町教育委員会

受講される方には
テキストを配布し、
3回以上出席された
方には修了証書を
授与します。

講座題目・講師一覧

| 開催日 | 時間 | 講座の内容と講師 | | | | | | | | |
|--|--------------------------|--|--------------|------------------------------|-----------|------------------|--|--|--|--|
| 第1回 9月11日 (金) | 18:45~ 19:00 | 開 講 式 | | | | | | | | |
| | 19:00 ~ 20:30 | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">題目</td> <td>2060年の大豊町をどう描くのか？</td> <td style="width: 20%;">講師</td> <td>受田 浩之</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【内容】 皆さんは大豊町の2060年をイメージしたことがありますか。現在、国は各自治体の2060年における人口が何人になるのか、いや何人にするのかを「人口ビジョン」として設定することを求めています。もちろん単なる願望にならないために、その実現に向けて必要とされる戦略を「総合戦略」として、5年単位で策定することも必要とされています。本講座では、2060年に向けた大豊町の「人口ビジョン」と「総合戦略」の策定に向けて考えるべき様々な視点について総合的に解説し、皆さんと共に未来の大豊町を描く場にしたいと考えています。</td> </tr> </table> | 題目 | 2060年の大豊町をどう描くのか？ | 講師 | 受田 浩之 | 【内容】 皆さんは大豊町の2060年をイメージしたことがありますか。現在、国は各自治体の2060年における人口が何人になるのか、いや何人にするのかを「人口ビジョン」として設定することを求めています。もちろん単なる願望にならないために、その実現に向けて必要とされる戦略を「総合戦略」として、5年単位で策定することも必要とされています。本講座では、2060年に向けた大豊町の「人口ビジョン」と「総合戦略」の策定に向けて考えるべき様々な視点について総合的に解説し、皆さんと共に未来の大豊町を描く場にしたいと考えています。 | | | |
| 題目 | 2060年の大豊町をどう描くのか？ | 講師 | 受田 浩之 | | | | | | | |
| 【内容】 皆さんは大豊町の2060年をイメージしたことがありますか。現在、国は各自治体の2060年における人口が何人になるのか、いや何人にするのかを「人口ビジョン」として設定することを求めています。もちろん単なる願望にならないために、その実現に向けて必要とされる戦略を「総合戦略」として、5年単位で策定することも必要とされています。本講座では、2060年に向けた大豊町の「人口ビジョン」と「総合戦略」の策定に向けて考えるべき様々な視点について総合的に解説し、皆さんと共に未来の大豊町を描く場にしたいと考えています。 | | | | | | | | | | |
| 第2回 9月17日 (木) | 18:45 ~ 20:15 | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">題目</td> <td>地方創生を集落や公民館単位で考える</td> <td style="width: 20%;">講師</td> <td>飯國 芳明</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【内容】 第1回目の講座では、全国の自治体で2060年の地域社会像を描くための作業が進められている様子と大豊町での対応が詳しく紹介されています。 本講座では、こうした町全体の状況を確認しながら、集落や公民館単位での今後のことを考えてみたいと思っています。 公民館レベルでの人口の予測や対策のほか、高知県が中山間地域対策の目玉として進めている集落活動センターについても触れます。また、これから人口がさらに減少すると、土地は所有しているけど、使わないことが増えてきます。私は、これを所有権の空洞化と呼んでいます。事態は深刻です。この問題を放置しておく、町の土地の多くが利用できなくなってしまうかねません。そこで、この問題を取り上げて、今後、町の外にいる所有者や出身者のみなさんと町を取り結び関係の強化していく必要性についてもお話したいと思っています。</td> </tr> </table> | 題目 | 地方創生を集落や公民館単位で考える | 講師 | 飯國 芳明 | 【内容】 第1回目の講座では、全国の自治体で2060年の地域社会像を描くための作業が進められている様子と大豊町での対応が詳しく紹介されています。 本講座では、こうした町全体の状況を確認しながら、集落や公民館単位での今後のことを考えてみたいと思っています。 公民館レベルでの人口の予測や対策のほか、高知県が中山間地域対策の目玉として進めている集落活動センターについても触れます。また、これから人口がさらに減少すると、土地は所有しているけど、使わないことが増えてきます。私は、これを所有権の空洞化と呼んでいます。事態は深刻です。この問題を放置しておく、町の土地の多くが利用できなくなってしまうかねません。そこで、この問題を取り上げて、今後、町の外にいる所有者や出身者のみなさんと町を取り結び関係の強化していく必要性についてもお話したいと思っています。 | | | |
| | 題目 | 地方創生を集落や公民館単位で考える | 講師 | 飯國 芳明 | | | | | | |
| 【内容】 第1回目の講座では、全国の自治体で2060年の地域社会像を描くための作業が進められている様子と大豊町での対応が詳しく紹介されています。 本講座では、こうした町全体の状況を確認しながら、集落や公民館単位での今後のことを考えてみたいと思っています。 公民館レベルでの人口の予測や対策のほか、高知県が中山間地域対策の目玉として進めている集落活動センターについても触れます。また、これから人口がさらに減少すると、土地は所有しているけど、使わないことが増えてきます。私は、これを所有権の空洞化と呼んでいます。事態は深刻です。この問題を放置しておく、町の土地の多くが利用できなくなってしまうかねません。そこで、この問題を取り上げて、今後、町の外にいる所有者や出身者のみなさんと町を取り結び関係の強化していく必要性についてもお話したいと思っています。 | | | | | | | | | | |
| 第3回 10月2日 (金) | 18:45 ~ 20:15 | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">題目</td> <td>高知県と嶺北地方の教育力向上について考える</td> <td style="width: 20%;">講師</td> <td>永野 拓矢</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【内容】 大学や短大への進学率が、四国4県で最低の高知県。とりわけ高知市以外の高校からの進学率が低く、「高知で大学進学を考えるのなら、高知市内に通わなければならない」といった考えになりがちです。しかし、現在は入試が多様化して、地元の高校でしっかりと学習・進路面の指導を受けることで、難易度の高い大学にも合格できる時代になりました。そうです。この嶺北からも大学進学の可能性が大きく広がっているのです。もちろん本人も頑張らなければなりません。この「頑張り」を支えるのは「昼は学校・夜は家庭」です。家庭での学習環境を家族で整えることが合格への近道になります。 以上から、本講座では「近年の大学入試」から「家庭での学習支援策」まで教育に関する幅広いお話をします。そして、地域の教育力向上について皆様と一緒に考えていきたいと思います。</td> </tr> </table> | 題目 | 高知県と嶺北地方の教育力向上について考える | 講師 | 永野 拓矢 | 【内容】 大学や短大への進学率が、四国4県で最低の高知県。とりわけ高知市以外の高校からの進学率が低く、「高知で大学進学を考えるのなら、高知市内に通わなければならない」といった考えになりがちです。しかし、現在は入試が多様化して、地元の高校でしっかりと学習・進路面の指導を受けることで、難易度の高い大学にも合格できる時代になりました。そうです。この嶺北からも大学進学の可能性が大きく広がっているのです。もちろん本人も頑張らなければなりません。この「頑張り」を支えるのは「昼は学校・夜は家庭」です。家庭での学習環境を家族で整えることが合格への近道になります。 以上から、本講座では「近年の大学入試」から「家庭での学習支援策」まで教育に関する幅広いお話をします。そして、地域の教育力向上について皆様と一緒に考えていきたいと思います。 | | | |
| | 題目 | 高知県と嶺北地方の教育力向上について考える | 講師 | 永野 拓矢 | | | | | | |
| 【内容】 大学や短大への進学率が、四国4県で最低の高知県。とりわけ高知市以外の高校からの進学率が低く、「高知で大学進学を考えるのなら、高知市内に通わなければならない」といった考えになりがちです。しかし、現在は入試が多様化して、地元の高校でしっかりと学習・進路面の指導を受けることで、難易度の高い大学にも合格できる時代になりました。そうです。この嶺北からも大学進学の可能性が大きく広がっているのです。もちろん本人も頑張らなければなりません。この「頑張り」を支えるのは「昼は学校・夜は家庭」です。家庭での学習環境を家族で整えることが合格への近道になります。 以上から、本講座では「近年の大学入試」から「家庭での学習支援策」まで教育に関する幅広いお話をします。そして、地域の教育力向上について皆様と一緒に考えていきたいと思います。 | | | | | | | | | | |
| 第4回 10月9日 (金) | 18:45 ~ 20:15 | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">題目</td> <td>大学生と地域との協働を考える</td> <td style="width: 20%;">講師</td> <td>市川 昌広</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【内容】 今年の4月、高知大学には「地域協働学部」という新しい学部が創設され、67名の学生が入学してきました。この学部では、学生たちが高知県の地域課題について、現場で学び・考え・解決に向けた実践を地域住民との協働を通じて取り組んでいきます。「協働」とは、さまざまな立場の自律した個人や団体が、ひとつの課題の解決に向けて対等な立場で取り組むことです。今後、地域協働学部をはじめとする高知大学の教員や学生が、地域住民の皆さんとますます盛んに協働を進めていければと願っています。この講座では、山村が広がる大豊町のような地域の存在意義、学生は山村地域から何を学ぶのか、山村地域は学生に何を伝え、学ばせるのかについて話します。山村地域は今後の日本社会にとってなくてはならない存在です。今後の山村地域の将来像について私の意見を話します。</td> </tr> </table> | 題目 | 大学生と地域との協働を考える | 講師 | 市川 昌広 | 【内容】 今年の4月、高知大学には「地域協働学部」という新しい学部が創設され、67名の学生が入学してきました。この学部では、学生たちが高知県の地域課題について、現場で学び・考え・解決に向けた実践を地域住民との協働を通じて取り組んでいきます。「協働」とは、さまざまな立場の自律した個人や団体が、ひとつの課題の解決に向けて対等な立場で取り組むことです。今後、地域協働学部をはじめとする高知大学の教員や学生が、地域住民の皆さんとますます盛んに協働を進めていければと願っています。この講座では、山村が広がる大豊町のような地域の存在意義、学生は山村地域から何を学ぶのか、山村地域は学生に何を伝え、学ばせるのかについて話します。山村地域は今後の日本社会にとってなくてはならない存在です。今後の山村地域の将来像について私の意見を話します。 | | | |
| | 題目 | 大学生と地域との協働を考える | 講師 | 市川 昌広 | | | | | | |
| 【内容】 今年の4月、高知大学には「地域協働学部」という新しい学部が創設され、67名の学生が入学してきました。この学部では、学生たちが高知県の地域課題について、現場で学び・考え・解決に向けた実践を地域住民との協働を通じて取り組んでいきます。「協働」とは、さまざまな立場の自律した個人や団体が、ひとつの課題の解決に向けて対等な立場で取り組むことです。今後、地域協働学部をはじめとする高知大学の教員や学生が、地域住民の皆さんとますます盛んに協働を進めていければと願っています。この講座では、山村が広がる大豊町のような地域の存在意義、学生は山村地域から何を学ぶのか、山村地域は学生に何を伝え、学ばせるのかについて話します。山村地域は今後の日本社会にとってなくてはならない存在です。今後の山村地域の将来像について私の意見を話します。 | | | | | | | | | | |
| 第5回 10月16日 (金) | 18:45 ~ 20:15 | <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">題目</td> <td>学びから大豊町の将来を考える</td> <td style="width: 20%;">講師</td> <td>-ワークショップ-</td> </tr> <tr> <td colspan="4">【内容】 これまで4回の講座を通じ、大豊町の将来を考えるうえでの様々な事例紹介(人口ビジョンと総合戦略策定、集落・公民館、教育力向上、大学生との協働等)を実施してきました。 本講座では、今後の大豊町の将来について、これまでの公開講座での内容を踏まえ、大豊町の住民の皆さんが、自分たちの町を今後どのようにしていきたいかを主体的に考え、その地域の将来を担う子供たちに大豊町という財産をどう引き継いでいくのかを意見交換することで、大豊町ならではの地方創生を実現していきたいと考えております。 高知大学公開講座での『学びから大豊町の将来を考える』にぜひ参加頂き、共に将来を考えていきましょう。 大学講師を交えたワークショップの詳細については、公開講座内で紹介します。皆様の参加をお待ちしております。</td> </tr> </table> | 題目 | 学びから大豊町の将来を考える | 講師 | -ワークショップ- | 【内容】 これまで4回の講座を通じ、大豊町の将来を考えるうえでの様々な事例紹介(人口ビジョンと総合戦略策定、集落・公民館、教育力向上、大学生との協働等)を実施してきました。 本講座では、今後の大豊町の将来について、これまでの公開講座での内容を踏まえ、大豊町の住民の皆さんが、自分たちの町を今後どのようにしていきたいかを主体的に考え、その地域の将来を担う子供たちに大豊町という財産をどう引き継いでいくのかを意見交換することで、大豊町ならではの地方創生を実現していきたいと考えております。 高知大学公開講座での『学びから大豊町の将来を考える』にぜひ参加頂き、共に将来を考えていきましょう。 大学講師を交えたワークショップの詳細については、公開講座内で紹介します。皆様の参加をお待ちしております。 | | | |
| | 題目 | 学びから大豊町の将来を考える | 講師 | -ワークショップ- | | | | | | |
| 【内容】 これまで4回の講座を通じ、大豊町の将来を考えるうえでの様々な事例紹介(人口ビジョンと総合戦略策定、集落・公民館、教育力向上、大学生との協働等)を実施してきました。 本講座では、今後の大豊町の将来について、これまでの公開講座での内容を踏まえ、大豊町の住民の皆さんが、自分たちの町を今後どのようにしていきたいかを主体的に考え、その地域の将来を担う子供たちに大豊町という財産をどう引き継いでいくのかを意見交換することで、大豊町ならではの地方創生を実現していきたいと考えております。 高知大学公開講座での『学びから大豊町の将来を考える』にぜひ参加頂き、共に将来を考えていきましょう。 大学講師を交えたワークショップの詳細については、公開講座内で紹介します。皆様の参加をお待ちしております。 | | | | | | | | | | |
| | 20:15~ 20:30 | 閉 講 式 (修了証書授与) | | | | | | | | |

— ご 案 内 —

高知大学ラジオ番組

『 THE こうちユニバーシティ CLUB 』

～毎週日曜日 休日の朝のひととき

【9時半からの25分間】ぜひお楽しみ下さい。～

「THE こうちユニバーシティ CLUB」では、学生、教職員、OB・OG、保護者、そして高知大学の絶大なサポーターである地域の皆様それぞれの目線で、高知大学が行っている教育、研究、地域貢献、また未来を創造する人材の育成、地域の皆様方との触れ合いについてお伝えします。

HISIX FM 高知 <http://www.fmkochi.com/>

**高知大学地域連携推進センター、
域学連携推進部門では、いろいろな学習の場
を提供しています。
なんでもお気軽にご相談下さい。**

お問合せ先: 高知大学 地域連携推進センター 域学連携推進部門
連絡先 : TEL 088-844-8454 / FAX 088-844-8556
E-mail : kokaikoza@kochi-u.ac.jp
HP URL : <http://www.kochi-coc.jp/>




高知大学
KICS
 KOCHI UNIVERSITY
 INSIDE COMMUNITY SYSTEM
 HP : <http://www.kochi-coc.jp/>